

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券は償却原価法（定額法）によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。

2. 固定資産（その他固定資産）の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	22,399,466	1,625,841	20,773,625
電話加入権	149,968	0	149,968
合計	22,549,434	1,625,841	20,923,593

3. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

科目	帳簿価額	時価	評価損益
関西電力株式会社 第476回社債 (一般担保付)	100,000,000	100,186,500	186,500
N T Tファイナンス株式会社第40回無担保社債	99,979,983	101,130,000	1,150,017
トヨタファイナンス第45回無担保社債(社債間限定同等特約付)	100,000,000	101,140,000	1,140,000
広島県平成22年度第7回公募公債(5年)	49,985,417	50,612,950	627,533
京都市公募公債平成22年度第1回	19,997,200	20,136,000	138,800
横浜市平成21年度第3回「ハマ債5」公債	8,700,000	8,766,990	66,990
合計	378,662,600	381,972,440	3,309,840

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内容	金額
経常収益への振替額	
投資有価証券受取利息	2,281,160
合計	2,281,160